

令和5年度 夏季職員研修の様子

当校では、夏季休業中に様々な職員研修に取り組みました。その一部を紹介します。

【不審者対応訓練】

不審者が校内に侵入した場面を想定した訓練を行いました。代表職員がロールプレイを行ったり、その様子を視聴したりしながら、不審者への対応を考えました。また、新潟東警察署の生活安全課の方々に来校いただき、指導・講評をいただいたり、不審者対応で重要な点についてお話を伺ったりしました。



【救急法講習会】

今年度も、心肺蘇生やAEDの使い方の講習を行いました。万が一の時に、子供たちの命を守ることができるように、一人一人が真剣に話を聞いたり、心肺蘇生やAEDの練習をしたりしました。他にも、アンビューバックやエピペンの使い方など、救急法について幅広く学ぶことができました。

【運動発達研修】

新潟県理学療法士会から講師においでいただき、「医療的ケアを必要とする重症心身障がい児の座位姿勢について」という演題でご講演いただきました。実際の症例について、授業中の座位姿勢に対してどのような対応や修正を行ったか、写真や動画を見ながら学ぶことができました。また、座位姿勢のメリットや授業中に注意すべきポイントのお話もあり、学校で生かせる内容が盛りだくさんでした。

【健康観察の基本と情報共有の重要性】

養護教諭から、子供たちの健康を守るために重要な健康観察について、「いつ、だれが、どうやって、何のために」という視点から整理して話をしてもらいました。また、研修を通して、得られた情報を十分に共有することの大切さを改めて確認することができました。今回の研修を生かし、子供たちが元気に学校生活を送ることができるように、これまで以上に適切な健康観察に努めていきたいと思えます。

【個別最適な学びを実現する指導の実践】

当校では「デジタル教材等を活用した個別最適な学びを実現するための指導の在り方」という主題で、一人一実践の取り組みを進めています。夏季休業中の研修では、各自が1学期中の実践を持ち寄り、小グループでの実践発表を行いました。発表会の中では、2学期の実践につながる様々なアイデアが出され、実りある時間となりました。

